

保育の 現状と将来



参加費
無料



谷口 由希子さん

名古屋市立大学大学院
人間文化研究科 准教授

保育園で子どもが
育つということ
— 子どもの権利の
視点から考える —

子どもが保育園に通うことは、児童福祉法第24条に「保育を必要とする場合」と明記されています。1・2歳児の保育所等利用率が半数近くに上ります。保護者たちはさまざまな理由によって、時に葛藤や困難を抱えながら、わが子を保育園に預けています。

では、子どもにとって保育所で育つということはどのように意味づけられるのでしょうか。子どもは、子ども期という発達段階にあり、「今を生きる主体」です。「子どもの権利」の視点から考えてみましょう。

2019年 **11月24日** [日]

13:10~16:10

- 12:30 ▶ 受付開始
- 13:10 ▶ 開会・あいさつ
- 13:15~14:15 ▶ 講演(谷口由希子さん)
- 14:15~14:25 ▶ 休憩
- 14:25~15:25 ▶ 講演(普光院亜紀さん)
- 15:25~15:40 ▶ 休憩
- 15:40~16:10 ▶ 質疑応答



普光院 亜紀さん

保育園を考える親の会代表
保育ジャーナリスト

女も男も、仕事も
子育ても
フツーにできて、
子どもが幸せな
社会を

会場 名古屋都市センター
特別会議室(14F)

名古屋市中区金山町一丁目1番1号 金山南ビル

定員 **80名** 先着順

※席に余裕があれば当日も参加できます

主催 公益財団法人
東海ジェンダー研究所

申込方法 本状裏面(コピー可)又はホームページの申込書に、住所・氏名・連絡先をご記入の上FAX又はE-mail等で東海ジェンダー研究所あてお申し込みください。お申し込み後、定員内の場合は特にご連絡は差し上げませんので、当日、直接会場へお越しください。

問合せ 申込先 TFGS 公益財団法人 東海ジェンダー研究所
〒460-0022 名古屋市中区金山1-9-19ミズノビル6F
TEL: 052-324-6591 FAX: 052-324-6592
E-mail: info@libra.or.jp
URL: <https://www.libra.or.jp/>

講師紹介

谷口 由希子 (たにぐち ゆきこ)

日本福祉大学大学院博士後期課程修了。博士(社会福祉学)。社会福祉士。2013年より名古屋市立大学大学院人間文化研究科准教授。専門は、社会福祉学、児童福祉論。

なごや子ども・子育て支援協議会委員、なごや子ども・子育て支援協議会子どもの権利擁護機関検討部会会長、桑名市子ども・子育て会議副委員長などをつとめる。

主な著作に『児童養護施設の子どもの生活過程—子どもたちはなぜ排除状態から脱け出せないのか』(明石書店、2011年、第14回損保ジャパン記念財団賞受賞)など。主な共著書に『シリーズ子どもの貧困4 大人になる・社会をつくる』(杉田真衣と共編、明石書店)などがある。

普光院 亜紀 (ふこういん あき)

出版社在職中に二人の子どもを保育園に預けて働く。現在、「保育園を考える親の会」代表。保育ジャーナリスト。保育、仕事と子育ての両立の分野の執筆・講演活動を行うほか、大学講師、国や自治体の保育・子ども施策に関わる委員会等の委員も務める。2018年5月より、保育所等における保育の質の確保・向上に関する検討会構成員。

著書に『共働き子育て入門』(集英社、2004年)、『変わる保育園』(岩波書店、2007年)、『保護者のホンネがわかる本』(ひかりのくに、2009年、共著)、『「保育」の大切さを考える』(新読書社、2014年、共著)、『共働き子育てを成功させる5つの鉄則』(集英社、2015年)、『保育園は誰のもの』(岩波書店、2018年)ほか多数。

会場案内図

名古屋市中区金山町一丁目1番1号
金山南ビル

名古屋都市センター
特別会議室(14F)



 (公財)東海ジェンダー研究所 (FAX 052-324-6592) あて
2019年度 講演会

参加申込書

ふりがな		
氏 名		
☐ 当研究所の賛助会員の方は✓をしてください		
住 所 〒		
連絡先	TEL	FAX
E-mail		
所 属 (差し支えなければご記入ください)		

*参加申込書の個人情報は、今回の行事のお申し込み確認や当日の受付、当研究所からのご案内以外には使用いたしませんのでご了承ください。